【ご参考資料】

2013 年 5 月 7 日
野村アセットマネジメント株式会社

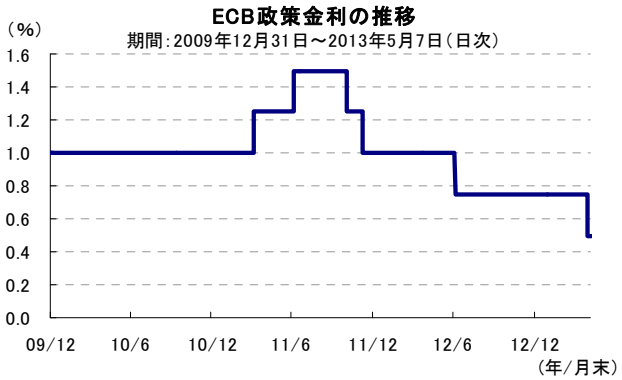
5 月 2 日発表のECB(欧州中央銀行)の利下げについて

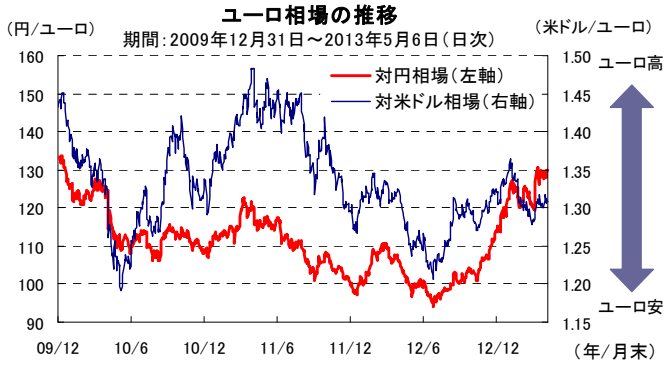
ECB(欧州中央銀行)は 5 月 2 日の定例理事会において、大方の市場予想通り主要政策金利を 0.25%引き下げ、過去最低の 0.50%とすることを決定しました（5 月 8 日から適用)。2012 年 7 月以来の利下げとなります。また、実質的に市場金利の下限となる中銀預金金利は 0%に据え置き、上限となる限界貸出金利は 0.50%引き下げ 1.0%としました。

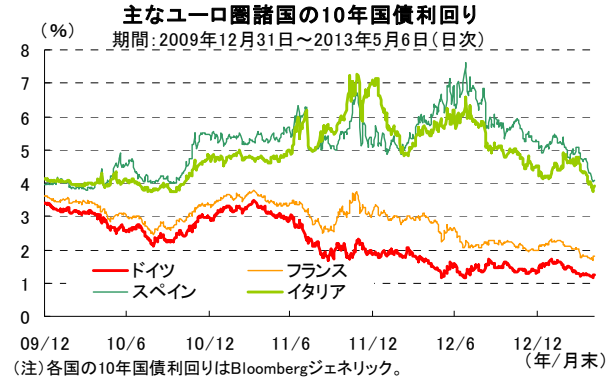
ECB が利下げに踏み切った背景には、ユーロ圏の景気を下支えする必要に迫られたことが挙げられます。3 月のユーロ圏失業率は 12.1%と過去最悪の水準となり、4 月のユーロ圏製造業 PMI（購買担当者景気指数）は 1 年 9 ヵ月連続で活動縮小を示す 50 以下となっていました。

ECB のドラギ総裁は 6 日の講演で、「今後数週間以内に発表されるユーロ圏のすべての経済統計を注視し、必要であれば再び行動する用意がある」と述べ、緩和的な金融政策が続くとしました。加えて、中銀預金金利をゼロ未満に引き下げる可能性についても検討を始めたことに言及しました。

次回の ECB の金融政策発表は 6 月 6 日に予定されています。







（出所）Bloomberg データより野村アセットマネジメント作成

以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。